



令和5年3月15日

編集発行
土浦市六中地区市民委員会
文化広報部
土浦市六中地区公民館
土浦市烏山二丁目2346-1
TEL 842-3585
FAX 842-3509

六中地区公民館 文化祭（作品展）

令和5年を迎えて（雑感）

市民委員長 石毛 一美

令和5（2023）年、卯歳。新しい年を迎えたとはほぼ同時に、新型コロナウイルスの拡大。インフルエンザウイルス流行の兆しという報道がありました。

今年もまた同じような状況が続くのかと思うと少々、ウンザリですが、六中地区の皆様にとって、素晴らしい年となりますように、心からそう願っています。

六中地区市民委員会におきましても、ここ数年は総会が開けず、専門部会の皆さんにおいても力を発揮する機会がなかなか訪れず、歯がゆい思いをされたことと存じております。

ひとり気を吐いたのがチャレンジクラブだったでしょうか。児童が学校ではなかなか体験できないことを、岩小、右小の児童と一緒に取り組む体験学習は、いわば未知との遭遇でもあり、魅力あふれる事業でした。今後大いに期待したいと思います。

また市民委員会が一体となって実施する「公民館文化祭」も完全復活とはならず、とても悔しく残念な思いだけが残りました。

しかしこのような状況において、公民館職員の皆さんと一部同好会の皆さん、ボランティアの皆さんが協働で作り上げた「公民館文化祭作品展」（令和4年10月27日～11月2日・

面打ち 盆栽 ガーデニング 水彩画 2 団体 折紙 洋裁 ウォーキングの各同好会の皆さん 小中学校図画・習字作品 市の木・市の花・市の鳥作品展示等）は、今後の文化祭の在り方に一石を投じたかもしれません。

そこには、とにかくにも「文化祭」の火は決して絶やさないという強い意思と情熱を感じとることができたからで、改めて敬意を表する次第です。さて、いづれ予定される令和5年度の総会では、令和4年度の詳しい事業報告があり、5年度の事業計画案が審議されます。

令和5年。今年こそ皆さんの歓声が湧き上がるように、「六中地区公民館文化祭」をはじめ、各種事業が完全復活することを期待しています。



文化祭 (同好会・小中学生作品展)

市民委員会専門部会
各部の活動報告

安全部

部長 関口 英雄

安全部は、主に地域の安全・防犯に関する事業の開催及び活動を実施しています。

主な活動についてご紹介します。

- 1 歩く会における道路横断時などの安全確保
- 2 花室川堤清掃における車両の誘導及び参加者の安全確保

これらの他に、安全・防犯のほり旗等の配布を予定しています。

皆様におかれましては、引き続き安全・防犯意識の高揚をお願いすると共に事業の実施などにあたっては、ご指導・ご協力を宜しくお願いいたします。

スポーツ健康部

部長 飯田 靖宏

令和4年度の事業計画は、現在のところ、新型コロナウイルス感染拡大による影響で実施できない状況で、スポーツ協会との共催事業も中止となりました。

新型コロナウイルスに翻弄されている状況ですが、今後の計画にある「六中地区歩く会」「グラウンドゴルフ大会」のスポーツ協会との共催に向けて、感染対策を講じながら地域

の方々の健康増進を図るための活動に取り組んでいければと考えています。

青少年育成部

部長 酒井 理志

青少年育成部は、年10回のチャレンジクラブ事業の協力やサタデーベントの企画運営を行っておりま

10月 バルーンアート・サツマイモ収穫

11月 サイクルーズ体験・かすみがうら博物館見学

12月 ティーボール野球大会

1月 ソーセージ作り体験

2月 ランチ作り体験・サタデーイベント

以上が下半期のチャレンジクラブ等の事業予定です。活動が残り少なくなりましたが16名のクラブ員と共に様々な物事にチャレンジして、全力で楽しみたいと思います。

環境部

部長 塚原 重雄

令和4年度の環境部の活動状況についてお知らせします。

1 公民館美化活動(花壇花苗植え)

2 公民館花壇の整備(草取り)

3 公民館文化祭

・新型コロナウイルス感染症拡大状況により、中止になりました。

4 第17回土浦市環境展

・10月15日霞ヶ浦文化体育館

5 公民館美化活動(花壇花苗植え)

・11月13日に実施しました。

6 花室川堤清掃

・霞ヶ浦清掃大作戦と連携し、ゴミ拾いを計画。

福祉部

部長 渋谷 紀子

令和4年度の福祉部の事業をご報告いたします。

11月20日に福祉講演会「健康講座(おてがる筋力チェック編)」を開催いたしました。

新型コロナウイルスの感染拡大で活動ができなかった状況でしたので久しぶりの活動となりました。

参加していただいた皆様の楽しそうな様子を見て、1事業でもできたこと嬉しく思います。

参加いただいた皆様、ご協力をお願いした福祉部の方々、ありがとうございました。

わがまち紹介

大岩田二区地区長 柳本 昭

大岩田二区は、土浦駅より、約四キロの地点に位置し、霞ヶ浦が一望できる自然豊かな町内で約二〇〇世帯が住んでいます。

町内会の歴史のなかの一つに「虚

空蔵寺」がある。一二五号線から十メートル差の高台に「鷲尾山虚空蔵寺」の「虚空蔵尊堂」がある。昔この坂道に石段があり、参拝の人が多く利用していたそうです。

「虚空蔵尊堂」の傍らに「お小屋」と呼ばれる「念仏小屋」が建っていたそうである。当時その一角は人々が集う場所であったとも言われている戦後、公民館が建てられ「お小屋」は機能を失った。後に石段は「小松の二十三夜尊」に売ってしまったらしい。石段の無くなった土の坂道を昇ると(今は九十三段の石段が出来ています)江戸時代に法泉寺住職が土浦城主を招いて「月見の宴」を行った「虚空蔵寺」が建っている。「虚空蔵寺」は法泉寺の居院寺として、住職が霞ヶ浦に昇る月に「厄除け安泰」を祈願したものである。また「虚空蔵寺」拝殿右の祠に「石造浮彫如意輪観音像」があり、十九夜講の中心でもあったようです。今回は町内の有識者に聞いた事を一部紹介しました。

まりやま団地区長 相澤 修

わが町内は、昭和四十七年四月に自治会が発足され、令和四年四月で五十年を迎えました。自治会活動や同好会活動を熱心に行っています。現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら活動しています。

自治会内には、三つの公園がありきれいに保つために、毎月一回、年十二回の清掃活動に全戸で取り組んでいます。花壇整備にも意欲的で、自治会発足時から毎年花いっぱいコンクールに参加しています。令和四年度は、寿楽会(敬老会)が最高賞、自治会・子ども会育成会が優秀賞をいただきました。

同好会活動も多く、スポーツ系、文科系の同好会が公民館を割り振りながら熱心に活動しています。

子ども会では、子ども達が引きながら楽しそうに古紙・ダンボールの回収を行っています。子ども達の人数が少なく、大変だと思いますが、みんなで声を掛け合いながら協力して活動しています。

自治会発足五十年が経ち高齢化が進んでいます。自分たちの町を自分たちで守る自主防犯パトロール活動や青色防犯パトロール活動も継続して取り組んでいます。



「六中地区子育て応援の会」活動紹介



六中地区子育て応援の会は「子供は地域で育つ」という考えの下、六中地区公民館で「ロック応援弁当」配食と「ロックみらい塾」の事業を行っています。

地域の子どもたちの食事などでご心配されている保護者の皆様へのエールを込めて、子ども対象に手作り弁当をお渡ししています。また、「ロックみらい塾」は自ら学ぶとする姿勢を応援し、毎週日曜日に開催しています。

ここまでの準備には多くの方々のご指導・ご支援がありました。土浦市や六中地区公民館はもとより、地区長会、民間企業、個人・団体、社協のほか、土浦六中、大岩田小、右舂小は私たちと保護者とを繋いでいただき、小中一貫校の「ロック君」マスコットの使用も勧めてくれました。そして何より素晴らしいことは「この指とまれ」で地域のボランティアが大勢集まり、手をつなぎ合ったことです。私たちは子育て中の皆様と共に子どもの健やかな成長を見守っていきたくと願っております。

これからも六中地区子育て応援の会への物心両面の応援、どうぞよろしくお願い致します。

今回、皆様にご挨拶できる機会をいただき、感謝申し上げます。

六中地区子育て応援の会 今高 博子



「学びと音楽の集い」

主催ロックみらい塾 1月14日



お仕事、子育てを頑張っている方に少しでも役立つことが、うれしく和氣藹々とお弁当を作っています。(若林)

子どもの絵とお手紙



楽しい仲間たち



毎回有志の
皆様の善意に
感謝し、見慣
れた献立でも
ひと味違う出
来上がりに感
嘆の声をあ
げ、そして、
喜んでいる子
供達を思い浮
かべ楽しく
作っています。
(渡辺)

みんなの声と絵を
待っています。
11月28日に持ってき
もらえるとうれしいな

チャレンジクラブ活動報告

後半のチャレンジクラブの活動は、展示のみになった文化祭以外、ほぼ予定通り実施することができ、有意義な体験をすることができました。チャレンジ農園での野菜の収穫は、個別に設定した収穫日に、親子で二回ほど収穫を楽しみました。また、スイカは、一人一個ずつ収穫することができ、サツマイモは、袋いっぱい持ち帰ることができました。後半の主な活動の様子を、クラブ員の感想を添えて報告します。

●林業・森林体験

八月二十八日(日)

森林体験は、森林の持つ様々な働きについて学習することを目的に行われる、茨城県緑化推進機構の事業です。六中地区のチャレンジクラブは、毎年参加しています。

あいにくの雨天でしたが、グループごとに森林を探索し、指導員の方から、森の植物のことや森林の働きについて学びました。丸太切りや木製プランター作りも、体験しました。◎木や植物の名前を教わったり、触



丸太切り体験（那珂市の県民の森にて）

れたりしました。今まで知らなかったことがたくさんありました。◎丸太切り体験では、腕が痛くなったり、あきらめずに切ることができました。切り終わったとき、達成感がありました。

●バレーボール体験

十月一日(土)

土浦市のレクレーション協会さんから講師の先生を招いて、細長い風船を使って、色々な作品作りに挑戦しました。

◎最初は風船が割れそうで怖かったけど、教えてもらいながら上手に作れたのでうれしかったです。

◎何度も風船を割ってしまったけど、動物など色々な作品を作れるようになってよかったです。

●サイクリング体験

十一月十九日(土)

歩崎公園まで自転車を積んで船で行き、帰りの約二十kmをサイクリングに挑戦しました。歩崎では、かすみがうら市の博物館で帆引き船と昔の生活について学びました。

◎自転車で二十kmを走るのは、大変だと思いましたが、意外に疲れませんでした。自転車で走っていると、風が気持ち良く、色々な景色が見られて楽しかったです。◎自転車をずっと漕いでいるのがつらくて、途中で足が痛くなったけど、頑張って最後までゴールできました。またやりたいです。



つくば霞ヶ浦りんりんロード

●ティーンズ野球大会

十二月三日(土)

バッティングティーンに置いたボールを打ってゲームする野球です。霞ヶ浦高等学校硬式野球部の協力で、毎年恒例になっている活動です。子どもたちは、高校生のお兄さんたちの助けもあり、思っていた以上に上手にできたようで、楽しく活動していました。

◎高校生のお兄さんたちが、色々と教えてくれたので楽しくできました。ホームランを打った人がいたので、すごいと思いました。

●ソーセージ手作り体験

一月十四日(土)

班ごとに好みのスパイスを混ぜて、オリジナルのソーセージ作りに挑戦しました。

◎スパイスを入れた肉をこねるとき、手が冷たくて痛かったです。頑張つて、すべての工程を覚えられました。

◎肉を羊の腸に詰めるのが難しくて、何度も破ってしまいました。自分で作ったソーセージを食べるのが楽しみです。



日本ハム「下館工房」にて



大岩田小グラウンドにて野球大会

◎試合は、負けてしまったけど、たくさん打てたので楽しかったです。

令和4年度 後期講座



簡単！おうちでできる ベーグルとおやつ作り

講 師：藤田真紀
(マキのパン屋)
受講者：16名



おしゃれな手編みベスト

講 師：松浦あみもの学院
本校講師
受講者：10名



実技で学ぶ東洋医学 (自力整体)

講 師：中村博美
(自力整体予防医学指導師)
受講者：12名



楽しく踊れる舞踊講座

講 師：勝見智子
受講者：7名



着物をリメイク *手縫いで重ねブラウス*

講 師：國友康代
(縮緬細工工房晏古)
受講者：14名



アロマの効果を感じ！ 頑張りすぎるあなたへ

講 師：小神野雅子
(アロマセラピーインストラクター)
受講者：10名

同好会だより

ダンス同好会98

代表 渡邊 善史

私達のサークルは、名前の由来となった1998年阿見町かすみ公民館で発足。約12年間活動を続けて来た2011年3月11日の東日本大震災で継続的な活動が困難となり六中地区公民館に活動拠点を移転、25年間続けて来ることが出来ました。これも偏に公民館の方々のご支援と家族の理解があったればこそと感謝申し上げます。順調と思ったサークル活動にも障害が2つありました。コロナ禍と高齢化です。御存知の通り社交ダンスは、男女が手を繋ぎ、組んで踊ります。離れてはとても難しい。まん延防止のため3密を避けるようにと指導されたコロナ禍、8ヵ月間もの活動中止要請もあり、感染を恐れ休んだり退会する人が多数おりました。もう一つは高齢化です。当初は殆どの会員が現役で、仕事を終えた夜間を趣味の時間にしていましたが、長い年月を経ると歳も取ります。昼間は運動できるけど夜になると目が・ねえと仰る。身体も以前のように動かなくなる。それでも会員の皆さんが来れる間は、今まで通り笑いの絶えない和やかなこの同好会を続けようと思っております。公民館が使用出来る時は、月に4回、火曜日の夜間、19時から21時の2時間やっています。もし二階集会室の明かりが点いていましたら覗いてみてください。

編集後記

文化広報部長 林 和美

広報紙「つどい」も第65号を発行する事になりました。

今年の冬は各種の値上げと続く新型コロナウイルスに悩まされましたが、行動制限の無い年末年始で普通の生活に近づき、徐々にコロナに対する規制緩和の兆しが見えてきたように感じるのは私だけでしょうか。

今回の編集にあたりご協力をいただいた皆様にお礼申し上げます。文化広報部員をご紹介します。

松田 均・鶴町 友之・伊藤佳奈子
齊藤 学・矢田貝愛子・池田 純
川崎 忍・齊藤 孝史・木村みつえ
野平 裕子・若林八千代・中込 誠治
手塚 登・田中由香里・柴山 邦寿
相馬 勝至

■新書 図書案内

探花	今野 敏
団地のふたり	藤野 千夜
カレーの時間	寺地 はるな
剛心	木内 昇
DIE WITH ZERO	ビル・パーキンス
母の待つ里	浅田 次郎
ひろゆき流ずるい問題解決の技術	西村 博之
創造力は眠っているだけだ	ヤロン・ヘルマン
頭の良さとは何か	中野 信子
ひぐらし日記	日暮 えむ
地味なお金の増やし方	佐藤 敦規
成功はPQで決まる	佐藤 綾子
続食べ 結果が出る食べ方がカンタンに続く方法	岸村 康代
流転の海	宮本 輝